

2025年5月7日

アルプスアルパイン株式会社

アルプスアルパイン

「人とくるまのテクノロジー展 2025 YOKOHAMA」へ出展

-安全・安心・快適な移動を支えるテクノロジーを紹介-

アルプスアルパイン株式会社（本社：東京都大田区、代表取締役 社長 CEO：泉英男、以下「アルプスアルパイン」）は、人とくるまのテクノロジー展 2025 YOKOHAMA に出展します。

近年、自動車の電装化、SDV（Software Defined Vehicle）化が進む中で、車室内空間の更なる快適性を求めるニーズとともに、より安心・安全に配慮した車（モビリティ）が求められています。

アルプスアルパインブースでは、今後のモビリティ社会に貢献する「安全・安心・快適な移動を支えるテクノロジー」を紹介します。



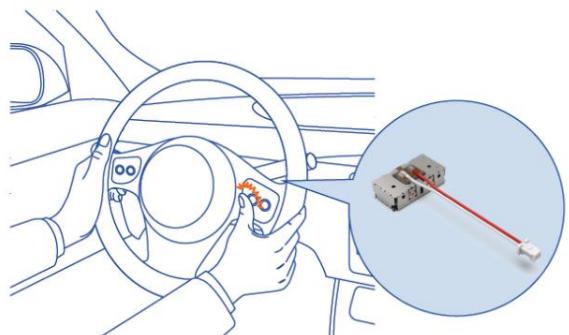
概要

名称	人とくるまのテクノロジー展 2025 YOKOHAMA
会期	2025年5月21日(水)～23日(金) -オンライン開催 5月14日(水)～6月4日(水)-
会場	パシフィコ横浜 ホールA
当社ブース No.	465
公式サイト	https://aee.expo-info.jsae.or.jp/ja/yokohama/

主な出展アイテム

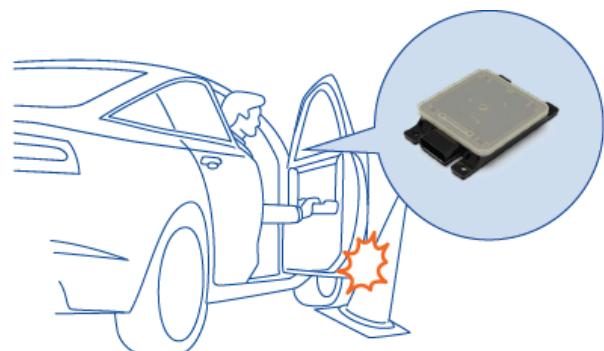
【haptic reactor 「AFDU シリーズ】

従来比約 90%のサイズダウン（体積比）を実現した小型触覚アクチュエーター「AFDU シリーズ」。高い振動性能をそのままに、メカ設計と磁気設計を最適化することで、サイズを抑えながらも十分な振動力を実現。ステアリングやエアコン操作部に使用した場合でも、十分な操作感を提供します。これまで設置が難しかった狭小スペースにも対応可能です。車載機器のタッチパネル化が進んでいますが、振動による操作フィードバックを出すために当社の触覚デバイスにて、自動車の内装デザインの高品位化に貢献します。



【障害物検知用ミリ波レーダーセンサー】

ミリ波レーダーは赤外線センサーや超音波センターと比べて外来ノイズに強く、高精度・高分解能での検知が可能です。本製品は、ミリ波レーダーとしての特徴を活かしつつ、短距離 3D 検出に特化した独自のアンテナ設計・角度推定アルゴリズムを採用することで、より高精度な検知を実現しています。



<お問い合わせ先>

アルプスアルパイン株式会社コーポレートコミュニケーション部 PR 課

電話 050-3613-1581（部門直通）

E-mail alpsalpine-pr@alpsalpine.com